

FDG-PET/CT検査に関する説明書

1.注意事項

- ◆妊娠中または妊娠の可能性のある方は、原則として検査を受けられません。
- ◆授乳中の方が検査を受けた場合は、PET注射薬注射から24時間は授乳を避けた方が良いでしょう。
- ◆高度な閉所恐怖症の方、30分程度安静臥床を保てない方は検査を受けられません。
- ◆移動やトイレ・着替えなどに介助が必要な方は、付き添い・介助できる方と一緒にお願いします。
- ◆PET検査注射薬は動かした筋肉に取り込まれます。そのため正しい診断の妨げを防ぐために、検査前日から検査終了までは、体の負担になる運動（ジョギング等）や作業、ガムを噛むのは控えてください。
- ◆検査の6時間前から絶食してください。味のしない水、許可された薬以外のものは全て禁止となります。
- ◆糖尿病で薬物治療をされている場合は、絶食している間、糖尿病薬を中止します。
- ◆他院からの内服がある場合は、確認のため検査時にお薬手帳をご持参ください。

2.安全性と危険性

- ◆PET注射薬でアレルギー反応などの副作用がおきる可能性はほとんどないと考えられています。
- ◆この検査ではPET注射薬・CTによる放射線被ばくがありますが、1回の検査における被ばく量は10 mSv程度です。これは通常のCT検査とほぼ同等で、この被ばくによる放射線障害はありません。
- ◆注射時の針の痛み、薬品注入時の血管運動反射に伴う一時的な気分不快、血圧低下、神経障害が稀に起こることがあります。

3.その他

- ◆この検査で使うPET注射薬は検査前から準備しているため、急なキャンセルや時間に遅れて検査が行えない場合、キャンセル料として3万円を頂く場合があります。
- ◆予期せぬ装置のトラブル等により、検査時間が遅れたり検査日を延期したりする場合があります。
- ◆PET検査は通常医療保険が適用されますが、病状によって適用が難しい場合、自費での検査となる場合があります。
- ◆この検査は優れた診断能を有することが知られていますが、病気の種類・大きさ・部位・性質、高血糖などの影響から、診断能には限界があります。そのため、がんを100%診断し得るものではありません。
- ◆今後の医療の進歩のため、PET検査結果の学会・講演会・論文などへの使用に同意をお願いしております。個人を特定できないよう管理しますので個人情報を守られます。またご同意頂けない場合も不利益は受けません。